



平成30年6月28日

授業研究会やっています

2年生の授業をみて先生方も勉強しています

(指導主事訪問)

学校では、よりよく子どもに理解させるよう、またどんな力をどのようにつけばいいのかを考えるために授業研究会が行われます。指導的な先生を呼んで行うのが「指導主事訪問」です。学校だけで行うのが「校内研究会」他にも町内や郡市で行うもの、県や国単位で行う研究などがあり、先生方は日々研究する姿勢が必要とされます。今回は、2年生の「スイミー」の授業が元気いっぱいに行われました。本年度の本校の授業は、「対話」です。



7月の行事予定

- 2日 全校集会
- 4日 全校PTA PTA奉仕作業
- 5日 ミニコンサート(ヴァイオリン)
- 7日 東北電力旗バスケ
- 11日 4年生食育の授業
- 12日 郡市書写審査
(いまがんばっています)
- 13日 貯金集金日
- 14日 郡市学童野球大会
- 15日 全県学童相撲大会
- 20日 終業式校内ワックスがけ
- 23日 夏季休業
保護者面談開始

各種大会の組み合わせがわかったらその都度お知らせします

1学期末全校PTA

7月4日(水) よろしくお願ひします。授業参観では、4月の時点からどのような伸びがみられるか。どのような変化があるかを、お子さんの姿を通して三輪小学校を感じ取ってください。また、夏休み中のプール開放についての説明をします。昨年から若干の変更点がありますので説明します。学級懇談では、担任からの話を聞くだけでなく、第1は保護者同士の交流会と考えていただきたいと思います。

社会性を育てる

前号を受けてのキーワードは、「みんな」です。子どもの指導やしつけで、迷いや悩みは多くあります。それを自分だけで背負わず、みんなの力を借りながら育てていくという姿勢が、心にゆとりをもたらします。教師(担任)は、学校の上司や同僚と協力して、学校の組織力を最大に生かすこと、家庭との連携協力をして、共に育てていこうとする姿勢をもつこと、保護者は、学校との関わりを密にして、学校を信じて共に育てていこうとする姿勢をもつこと、をお願いしたいと思ひます。学校と保護者が、信頼しあつて一つの方向性や考えを共有して、共に育てていくことで「仲間と育つ笑学校」という学校教育目標が機能すると思ひます。

トラブルやけんかの経験も実は集団に生きる「人間力」を作ります。様々な人間の中の経験が大事です。昨今の凶悪事件を見ていると、昔と明らかに違ひなのが犯人像です。知人は口々に「まじめで・・・人でした」といひます。もちろん「まじめで」ていいのです。その言葉は誉め言葉です。しかし、社会性はどうでしょうか？.....

学校と保護者、地域が一体となつて、本気になつて育てていけば、たくましい「人間力」が備わつた子どもの育成につながるはずです。そのために「社会性」を意図的に育てる必要があります。子どもに関わつたすべての大人は、子どもたちからたくさんの喜びを得られるはずです。子どものあいさつや笑顔、そして感謝の言葉、何よりも元気な姿を見るだけで、幸せな気分になつてくれます。みんなで三輪小学校づくりに主体的に関わつていただき、大きな幸せを得てもらいたいと思ひています。それが子どもの「社会性」を育てることにつながります。では、**社会性がない子どもの状態とはどんな様子のことでしょうか。**

続きは4日のPTA全体会でお話しします。